



看護師 間瀬真樹子さん
積極的に患者さん役を
して下さい感謝!!!

■ 2022. 10. 18

病院内では、残念ながら転倒・転落が発生する頻度は高く完全に防止することは、とても難しいです。また、転倒・転落の防止対策から必要以上に患者さんの行動を制限することは倫理的問題であってはならないことです。転倒・転落の予防対策の一



助として、院内ベッドのリース化と合わせ【離床センサー付きベッド】の導入に至りました。先日、そのベッドの説明会を医療安全管理室が開催しました。対象者は、看護職員・看護補助者・リハビリテーション職員で、3日間・19回開催し250名以上の参加がありました。

【離床センサー付きベッド】は、ベッドに内蔵した荷重センサーがベッド上の荷重の変化を検知してナースコールで患者さんの起き上がりや離床を知らせてくれます。患者さんの状況に合わせたナースコールへの通知のタイミングを設定することで、看護職員の付き添う眼の代わりとなり適切なタイミングで患者さんのベッドサイドに行くことが可能になります。より安全で効果的にベッドが使用できるように説明会では多くの質問がありました。

継続した観察が難しい状況の対応策として【離床センサー付きベッド】を最大限に有効活用して患者さんの安全を担保した入院環境を整備していきたいと感じました。

さあ、明日からも患者さんのため、病院職員のために頑張ります。